

東京聖栄大学

後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

◆躍動する学生◆



高く跳べ



はいれ！ 玉入れ



引け！引け！ 樽引き



2クラス同点優勝

▼4面に学友会活動報告

本年四月の入学式後に行われました、後援会総会にて皆様のご承認を頂き、会長の任を仰せつかりました篠田恒夫です。この一年間、皆様のご理解とご協力を賜りながら、この大任を果たしたいと存じます。

さて、東京聖栄大学では大きな夢と希望を持った新入生を迎え、平成二十四年度、八期目のスタートを切りました。

また、管理栄養士国家試験の合格率も年々着実に上昇し、四

期生は、新卒の全国平均合格率を上回る実績を残し、更に、全国的にも数少ない学科の食品学科卒業生も「食」のエキスパートとして、実社会の中で活躍されていることと存じます。

この様に、東京聖栄大学から「食」を通して社会に貢献する多くの人材を輩出する為にも、後援会として、学生のキャリア形成及び、職業的自立支援に寄与出来る様、皆様と連携を取り活動して行きたいと存じます。



昨年度の保護者会

平成二十四年度保護者会(予告)

今年度の後援会・大学共催による保護者会を、九月二十九日(土)に開催することといたしました。

お忙しい中、保護者の皆様にご出席いただき、ご子息、ご息女の学内での様子や、就職の展望も含めてのご報告と、学年担任との懇談を予定しており、本学の教育についてのご理解を一層深めていただければと思っております。

保護者会終了後は、本学多目的ホールにおいて、後援会主催の教員との情報交換会を十五時十分から十六時四十分までの予定で実施いたします。

総会・役員会報告

役員会報告

三月三日(土) 四役会、三月十七日(土)に役員会全体会が夫々開催された。

先ず、平成二十三年度事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果、同報告は承認された。

引続き、平成二十四年度事業計画案同予算案を審議、夫々承認された。

さらに、進級する一部の役員の方の二十四年度留任が決定。

総会

四月一日(日)の大学入学式当日、本学わたなべ記念館に於いて、ご父母(保護者)多数の出席を得て総会が開催された。

初めに、昨年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認された。引続き、本年度事業計画案、同予算案が承認された。

最後に、役員の改選が行われ、選任・委嘱された新役員の方々のご紹介の後、新会長には篠田恒夫氏が選任された。

併せて、平成二十四年度役員のご紹介があり、議場にて満場一致で承認された。

会長挨拶

後援会会長 篠田 恒夫



秋涼の候、後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

管理栄養学科

国試合格へ

学習習慣の確立を

管理栄養学科長 阿左美章治



管理栄養学科では、新入生八六名を迎え三三九名の学生が学習に励んでいる。三月に卒業した四期生は、就職と管理栄養士国家試験合格を達成すべく、確固たる信念のもと十分に頑張ってくれた。特に管理栄養士国家試験では九三・七％の合格率を獲得し、前回よりも一・四ポイント高く、全国の管理栄養士養成大学の平均合格率を超える結果であった。後輩達もこれを目標に頑張つてほしいものである。

今年度の学習上の特徴は四年次のゼミナールⅠ・Ⅱと一年次の管理栄養士概論にある。四年次のゼミナールⅠ・Ⅱは、学生の希望する専門教科のゼミ配属とし、管理栄養士としての専門性の充実と、効果的な国試対策を目指している。一年次の管理

栄養士概論では、宿泊研修や授業を通して管理栄養士の理解をすすめる、また、個々の食事調査させるなど、学習へのモチベーションの高揚につとめている。さらには学生の学習格差の解消や学習習慣の確立など学生と一体となった学習をすすめる、教育の質の向上を期している。

昨年度以上の成果を上げるべく全教職員の連携を活かした、学生指導をさらにすすめていく。



管理栄養学科担任紹介

一年担任

渡邊 悟教授

一年副担任

鈴木 三枝准教授

一年副担任

矢島 克彦助手

二年担任

高橋 祥子准教授

二年副担任

橋場 直彦准教授

二年副担任

吉田 真知子助手

三年担任

橋場 浩子教授

三年副担任

佐川 敦子助教

四年担任

渡辺 順子准教授

四年副担任

星野 浩子助手



学生支援センター

(学生支援・就職支援)

新奨学金の創設

教授会等の審議を経て、学生の経済的支援の一環として「国の教育ローン」利子補給奨学金を創設した。国の教育ローンとは、日本政策金融公庫が取り扱う教育ローンをいう。

この奨学金は、「国の教育ローン」の借入金(学納金等相当額)の利子相当額の一部又は全部を奨学金として支給する。

四月に初めての奨学生の受付を行い、四名の奨学生が決定した。詳細については、学生支援センターに相談してください。

意見交換会

七月十二日に福澤理事長・学長等大学代表者十四名と学友会役員等学生代表者十二名による「学生との意見交換会」が行われ、数多くの意見が出された。活発な意見交換が行われ、今後出来る限り対応するよう検討をしている。



なお、昨年の意見交換会での学生要望は教授会等審議を経て、大学は多くの対応をした。学生の要望と大学の対応はT Sナビや掲示等にて報告された。

講座

●マナー講座(一年)

六月二十四日に本学が実施している「マナー向上運動」の一環として新入生を対象に「マナー講座」を開催した。マナーの基本等を実技を交えて学んだ。



●就職マナー講座(三年)

七月九日に、三年次生の就職希望者を対象に専門業者による実践的な就職マナー講座を実施した。面接官は「何をみるのか?」等学生の疑問に答える興味深い内容であった。



食品学科

リメディアル教育の継続

食品学科長 丸井 正樹



学科に課せられた改善策の進捗状況をお伝えする。その一つ、リメディアル教育。これは、食品学科が必要性を強く感じて力を入れているところである。高校での化学未履修を補う「化学入門」、習熟度別クラスの「英語」に加え、学科では初めての「化学実験」の集中授業を夏期休暇期間中に行った。実験基礎技術は専門の実験および実習では必須である。①基礎力をつけて専門に取り組む

②専門が理解できると食品が面白くなる ③専門分野での仕事に興味があく ④就職に有利な食品業界に内定する。このよ



教育を全学年にわたって継続的に実施する構想を練っている。

就職に有利であり食品技術者の技能の一つとして認められるところの食品微生物検査技士の受験講座への参入を今年度から始めた。取得が難しい資格ではあるが三次生三名が早速挑戦している。本学科で実技研修を受けるメリットが資格認定協会から認められており、学生たちには大きな期待が寄せられている。技量ある卒業生の活躍で後輩の働く領域が広がれば、学科としてこれに勝る喜びはない。

一年次生対象のフィールド研修が長野県伊那市近郊で九月四〜六日に行われた。食品工場見学と食品製造体験も含めた農業体験実習であるが、学生間のみならず教員とのコミュニケーションも盛んになされていた。

食品学科担任紹介

一年担任 岡本 直也准教授



一年副担任 鈴木 等助教



二年担任 前田 宜昭教授



二年副担任 片山 佳子講師



三年担任 荒木 裕子准教授



三年副担任 吉田 光一講師



四年担任 品川 弘子教授



四年副担任 植芝 牧准教授



面接力アップセミナー(四年)

七月九日に、四年次生の就職未内定者を対象に、「選考突破！面接力アップセミナー」を開催した。東京しごとセンター職員による講



就職支援

学生支援センターの就職支援は、担当教員等との緊密な連携の下行っている。今年は、五期生の就職支援にあたり、本学の就職支援の再構築に努めている。

具体的には、管理栄養士職では、臨地実習先との関係強化、直営給食施設求人増加の為の依頼の拡大を行い、求人が増加した。食品会社求人から食品関連優良企業のデータベースを購入し求人依頼を行い、求人先の拡大と内定獲得に結びついている。

後援会の寄贈

●学友会室LAN設備の寄贈

学友会室のLAN設備を寄贈し、学友会室内の無線LAN環境整備を実施した。同時に、学友会が使用するiPadを三台寄贈した。

●スタンドパネル

今年度も学友会や部・同好会が使用するスタンドパネルを三台購入し、学友会に寄贈した。

●就職関係

・パソコン・プロジェクター・スクリーン
ガイダンスや学内業界・企業説明会等で使用するパソコン一台、プロジェクター
・スクリーンをそれぞれ二台、寄贈した。



副会長挨拶

後援会副会長 村本 光方一



未来の大聖哲に期待！
後援会の皆様におかれましては、日頃の後援会へのご協力、感謝致します。

学生の皆さん、自身の希望通りの方向に向かっていきますか？
今、この時が、一番大事な時であると決め、大いに羽ばたいて下さい。悔いなく、学生生活を送れる様自分自身の力を思いっきり発揮して下さい。

先生方も、ご家族の皆様方も、必ず、応援して下さいませ。色々な困難に挫けず、一歩、又一歩と前に進んで行って下さい。日本の未来の中心となる大聖哲の学生の皆様方に、大いに期待しています。

学友会活動報告

学友会総会・新入生歓迎会

四月十六日、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度の行事予定などが報告され

た。引き続き行われた「新入生歓迎会」では、「力をあわせ、災害を乗り越えるために」とのテーマで明治大学危機管理研究センター特任教授・首都大学東京名誉

教授中林一樹氏による特別講演が行われた。昨年発生した東日本大震災を踏まえ、日頃からの備えの重要性や具体的な備えの方法などについて講演され、とても勉強になる講演会となった。

五月二十八日、船橋グラウンドにおいて体育祭が開催され、今年も聖栄会（同窓会）からの後援を受けた。

当日は天候にも恵まれ、多くの学生が参加し、クラス・学生



体育祭

の交流を深めた一日となった。

て愛されBody 350g / 日」に決定した。数多くの企画を揃えて皆様のご来場をお待ちしております。



聖栄葛飾祭（大学祭）予告

今年の「聖栄葛飾祭」は十一月三日（土）、四日（日）の二日間に亘り開催される。今年も例年同様に地元密着の大学祭として、葛飾区の後援や地元地域の協力等を得て開催される。今年のテーマは「野菜を食べ

部・同好会活動

現在の学友会の認可の団体は、部が七団体（体育系・四団体、文科系・三団体）、同好会



が十二団体（体育系・七団体、文科系・五団体）の計十九団体である。どの団体も熱心に活動をしており、他学年の学生との交流を持つ良い機会となっている。

各団体には、今後も引き続き大学関係行事や地域行事等への参加協力が期待される。



平成24年度後援会役員紹介

会長	4NB	夫弓一	泉徹夫	孝子	江恵鈴	子仁子	仁子	生也	誠子	乃子	治子	美孝	明仁	子則	代
副会長	2NB	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥達	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
副会長	2NB	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
副会長	2FA	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
計	3NA	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
計	3NB	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
計	3NB	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
計	1NA	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
計	3NB	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
計	2NB	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
計	3NA	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
員	4NA	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
員	4NA	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
員	4NB	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
員	4NA	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
員	4FA	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
員	3NA	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
員	3NB	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
員	3FB	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
員	2NA	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
員	2NA	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
員	2FB	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
員	2FA	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
員	1NB	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
員	1NA	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
員	1FA	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
員	1FA	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
員	1NB	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川
員	1NB	恒真光	方	和	悦文利	三佐	一久	美三	弥达	順美	美枝	孝朋	清豊	惠美	靖幸
員	1FA	田川本	部下	森屋	嶋河	柳塚	田越	島	熊芳	崎橋	黒岸	莖本	井井	木木	沢又
員	1FB	篠平村	日下	大土	大中	久小平	滝堀	川東	赤三	山高	石根	下橋	櫻石	鈴鈴	中川